



2008群馬大会(144MHz)での 私の判断と行動

2008年5月10日(土)
於 群馬高山村

安島 巧

スタート
ゴールピーコン
立入禁止区域



5,000 等高線間隔 10m
群馬ARDFクラブ
OCAD9.6.1 License No. 5883

2008-May-10 群馬県香妻
2008群馬144MHz
2008高等学校14
北関東地区
現地調査者 清水茂 樋口義

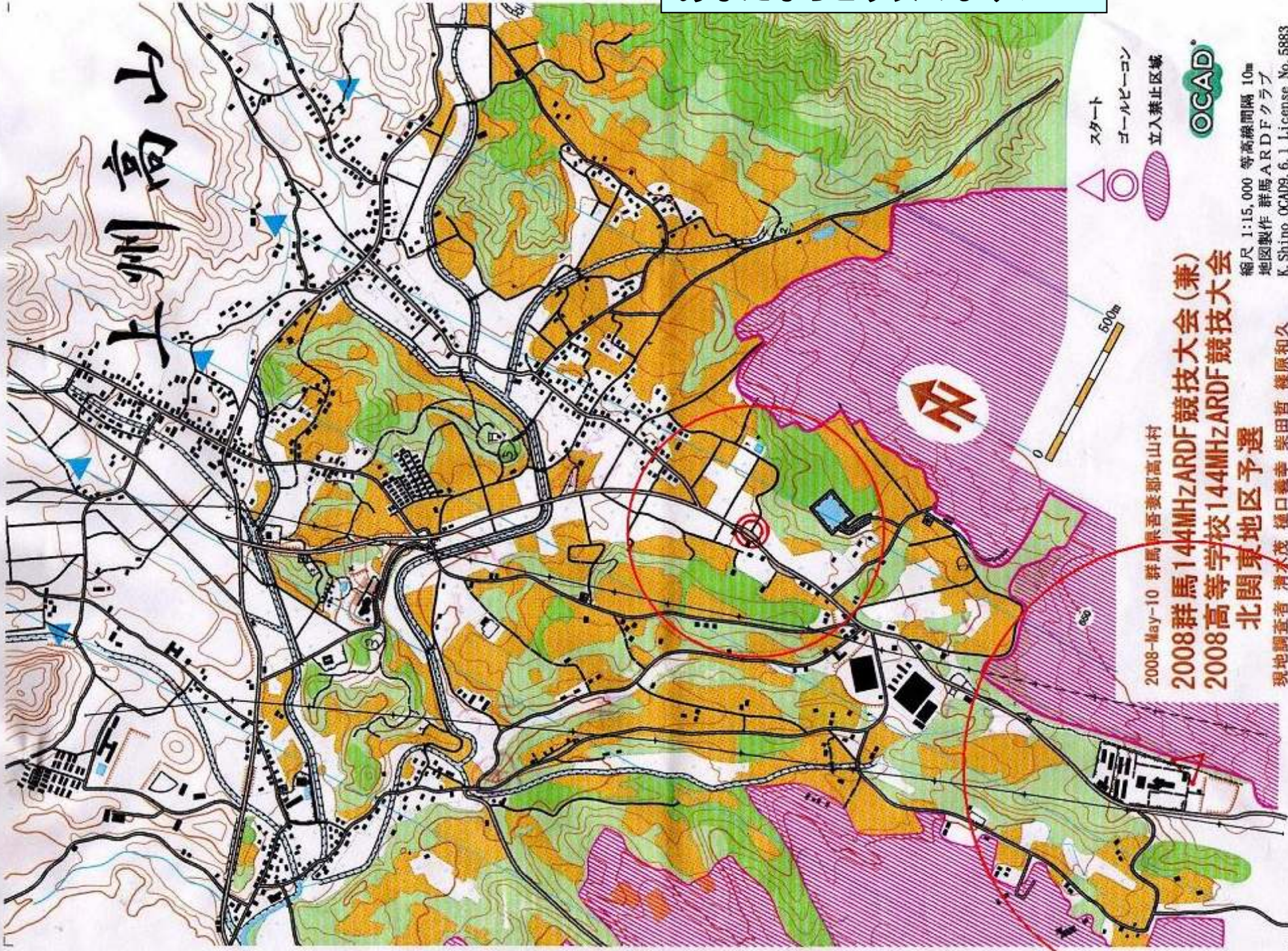
初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の方々の役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？



上州高山

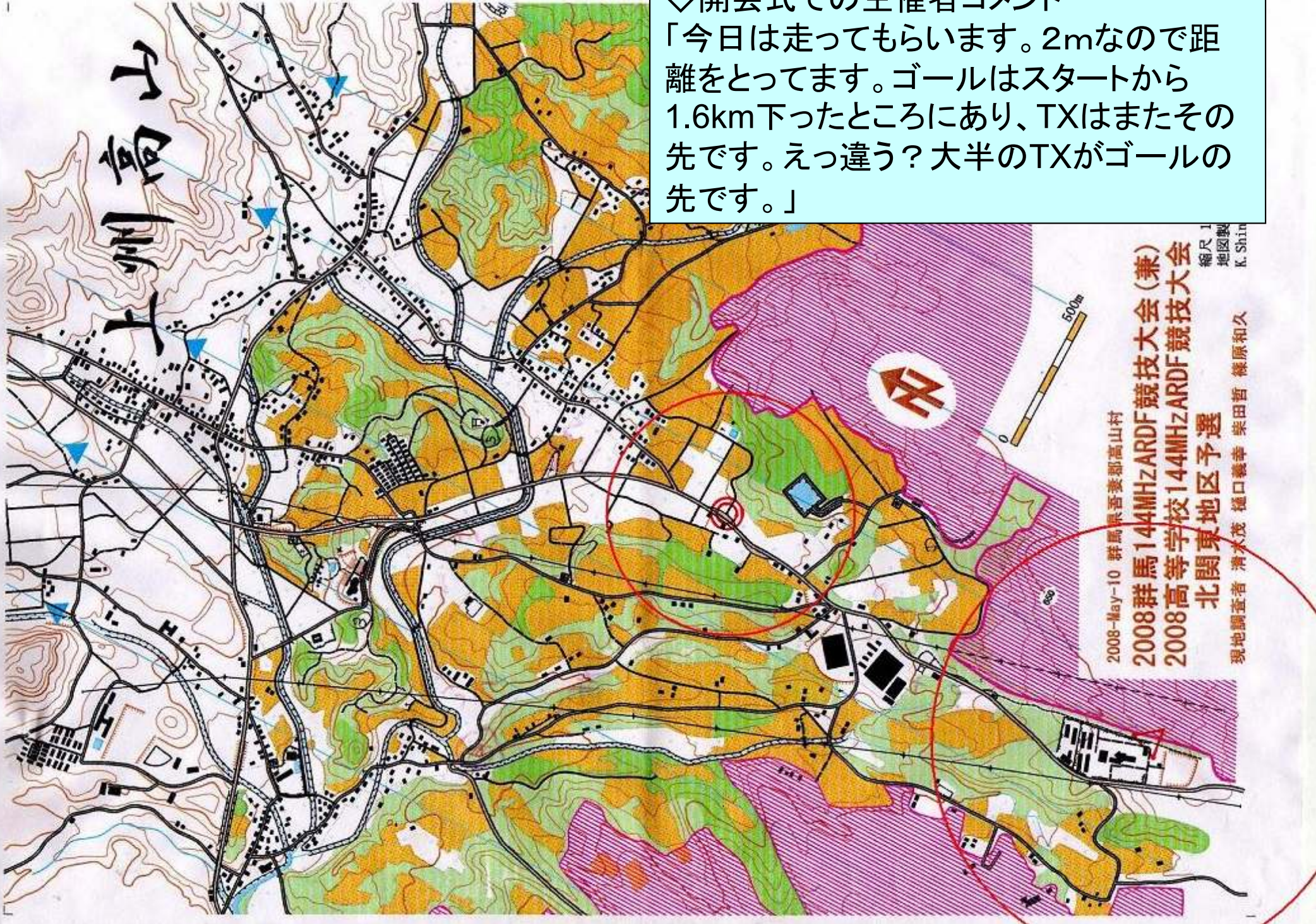
- △ スタート
- ゴールピーコン
- ◌ 立入禁止区域



縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
 地図製作 群馬ARDFクラブ
 K. Shino OCAD9.6.1 License No. 5883

2008-May-10 群馬県吾妻郡高山村
2008群馬144MHzARDF競技大会(兼)
2008高等学校144MHzARDF競技大会
北関東地区予選
 現地調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 篠原和久

上州高山



◇開会式での主催者コメント

「今日は走ってもらいます。2mなので距離をとってます。ゴールはスタートから1.6km下ったところがあり、TXはまたその先です。えっ違う？大半のTXがゴールの先です。」

2008-May-10 群馬県吾妻郡高山村

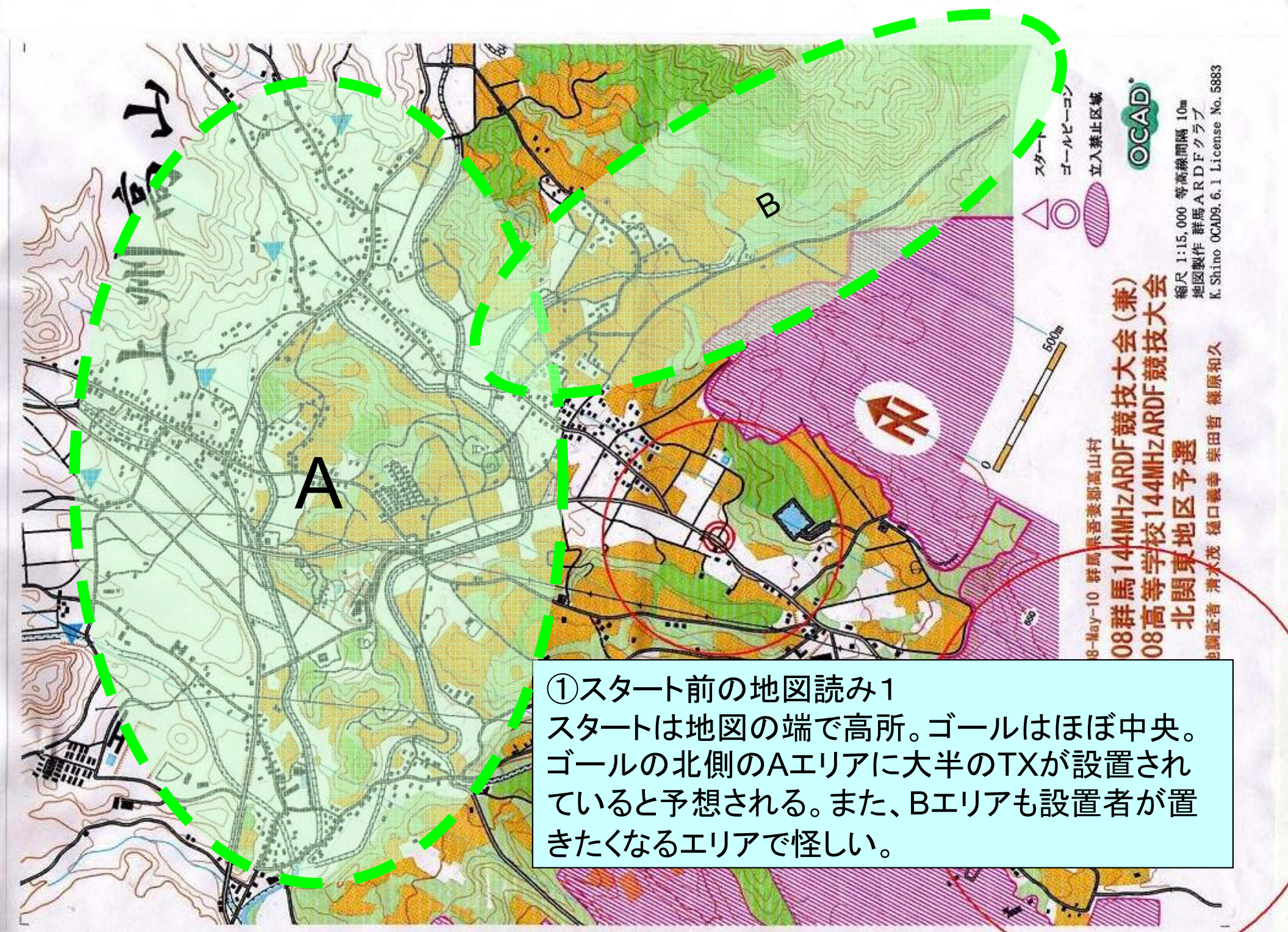
2008群馬144MHzARDF競技大会(兼)

2008高等学校144MHzARDF競技大会

北関東地区予選

現地調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 榊原和久

縮尺 1:5000
地図製
K. Shin



8-May-10 群馬県吾妻郡高山村
08群馬144MHzARDF競技大会(兼)
08高等学校144MHzARDF競技大会
北関東地区予選
調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 篠原和久

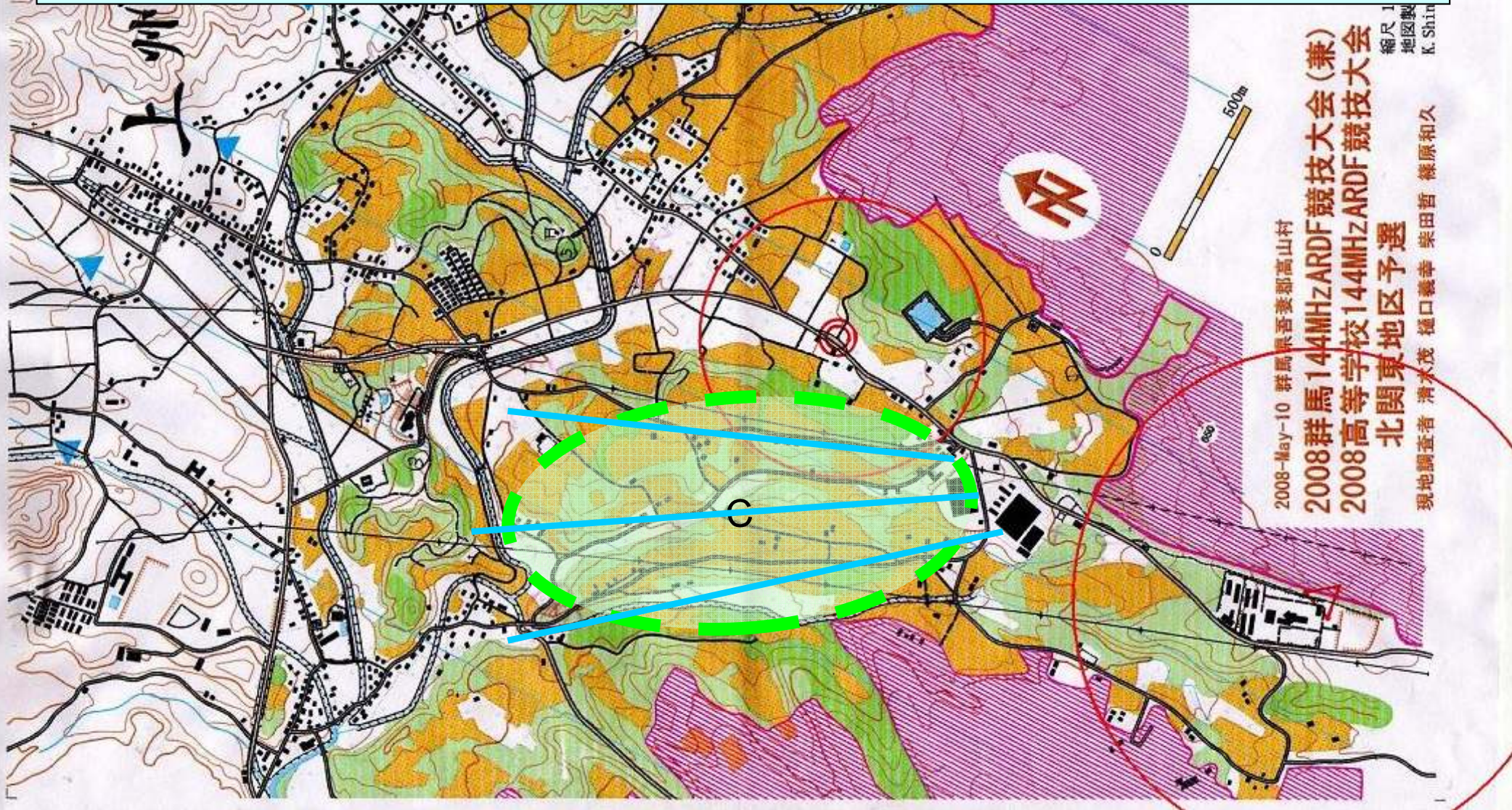
縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
地図製作 群馬ARDFクラブ
K. Shino OCAD9.6.1 License No. 5883

①スタート前の地図読み1
スタートは地図の端で高所。ゴールはほぼ中央。
ゴールの北側のAエリアに大半のTXが設置され
ていると予想される。また、Bエリアも設置者が置
きたくなるエリアで怪しい。

②スタート前の地図読み2

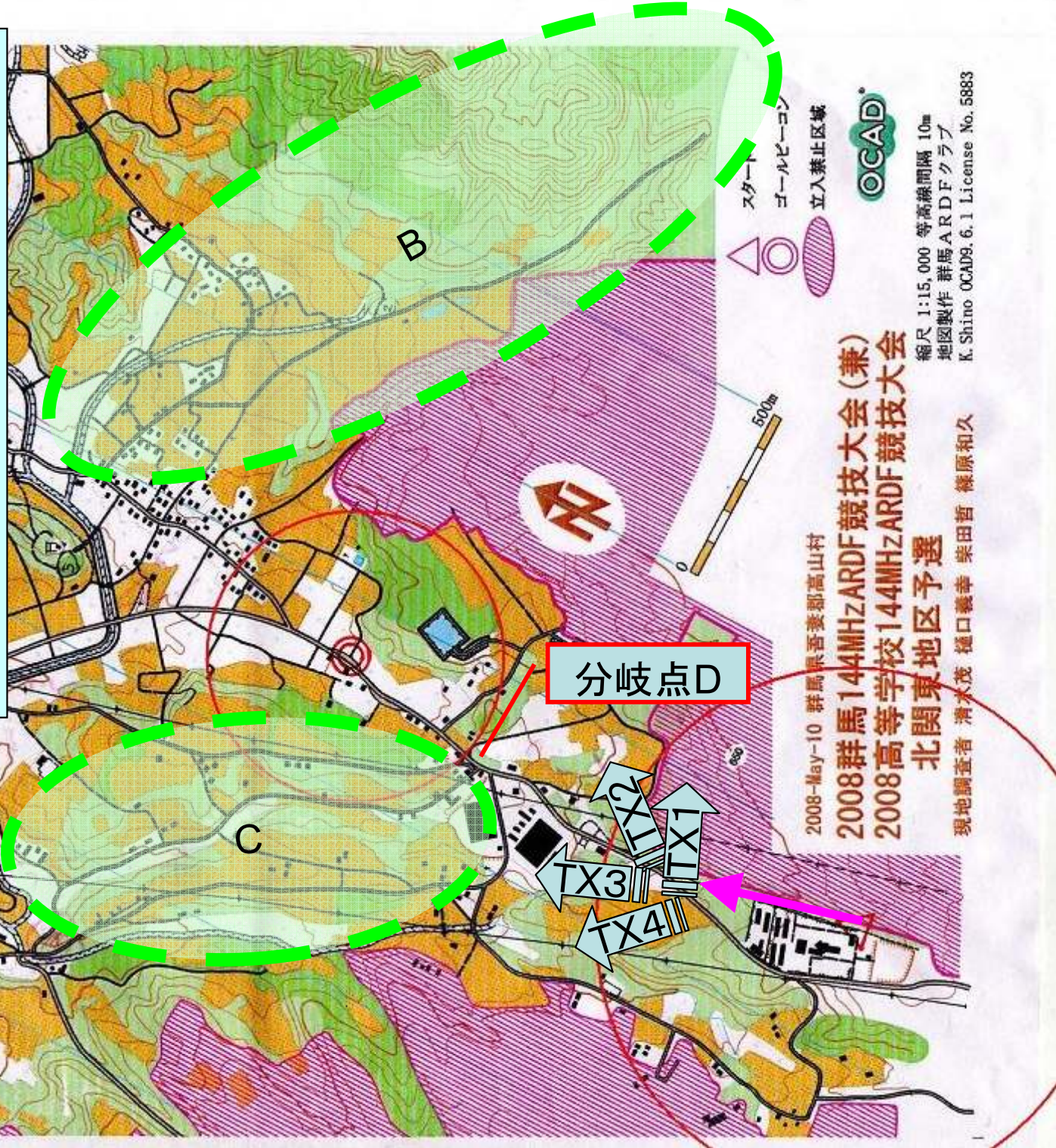
ゴールの北・東側は縦横に道があるが、西側のCエリアは南北の道が多く東西の道が無い。因って西側は道を間違えると命取りになりかねない。道路は北側(低地方向)に広がっているのので、できれば上(狭いほう)から攻めたい。

主催者コメントによると、ゴールと等距離くらいに1個ありそうだが、ゴールの西側にあるとヤバイ。もし、CエリアにTXがあるならば、最初にゲットすべきだ。



③探索開始地点

分岐点Dまでの間に、ゴール西側CエリアにTXがあるか否かを判断しなくてはならない。TX1,2が強い。TX1の方が強く右側。距離はよくわからないが、Bエリアにある可能性も大であり(結果、これは判断間違い)、後半でゲットすればよい。TX3,4がCエリア方面だ。TX4の方が弱く、左側。よって、Cエリアから攻めることにする



④分岐点Dからの下り道

分岐点Dで方向的に一番あっている道を選ぶ。ここからは、道の左側にTXが無いことを確認しながら進むことが大切。道の左側にあるTXを通り過ぎたら、二度と戻ってこられないからだ。長い下りで心配になってきたが、TX3,4は道方向なので、かまわず進む。

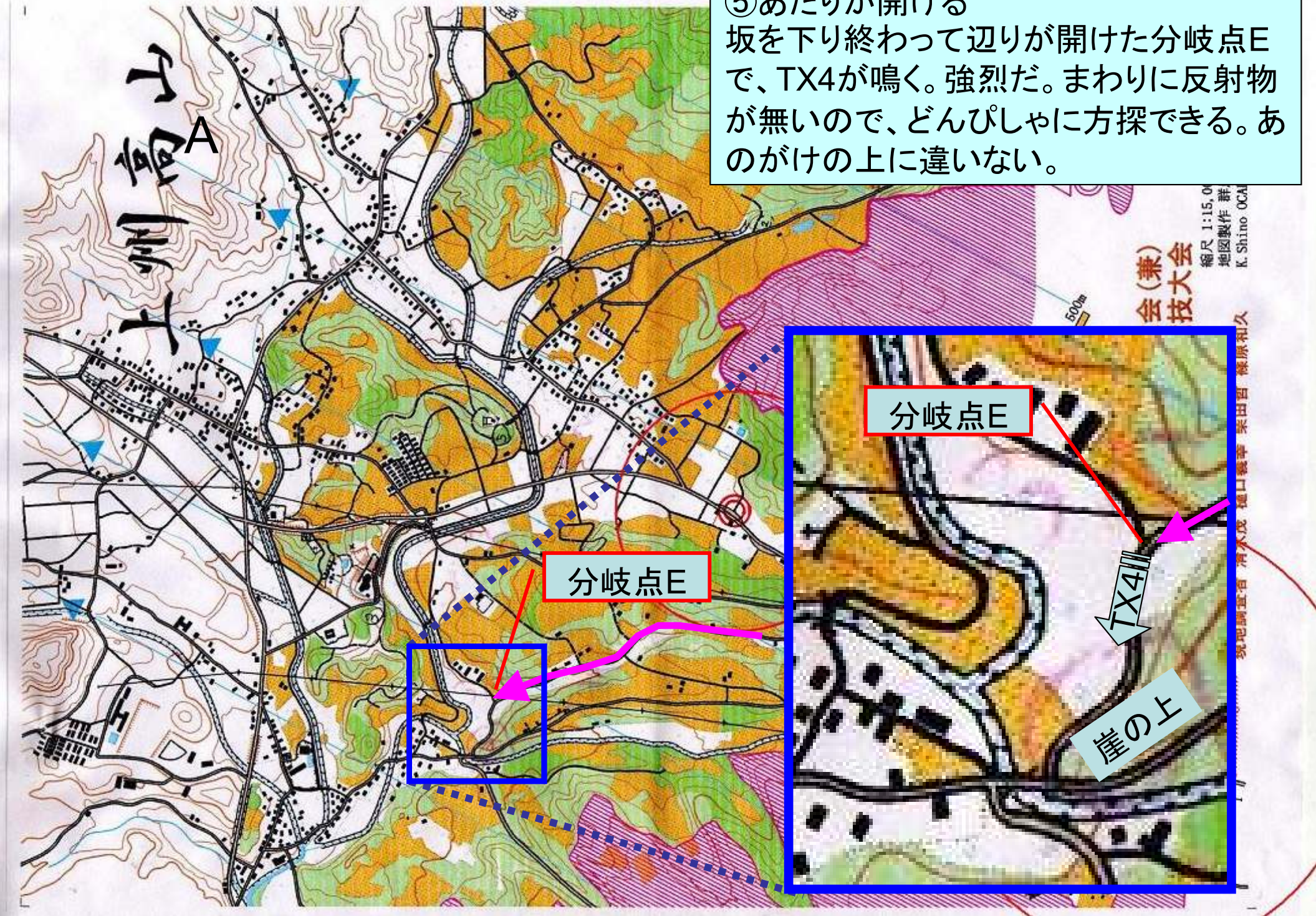


分岐点D

TX3
TX4

2008-May-10 群馬県吾妻郡高山村
2008群馬144MHzARDF競技大会(兼)
2008高等学校144MHzARDF競技大会
北関東地区予選
現地調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 藤原和久
縮尺 1:5000 地図製 K. Shin

⑤あたりが開ける
坂を下り終わって辺りが開けた分岐点E
で、TX4が鳴く。強烈だ。まわりに反射物
が無いので、どんぴしゃに方探できる。あ
のがけの上に違いない。



上州高山

⑥TX4

がけの下まで行き、目視でフラッグと登り道を探すがない。ぐるりとまわると反対側に上り口があり、その上に祠(お約束)がある。これで確信。祠の前で一礼してから祠の裏へ回りTX4ゲット。



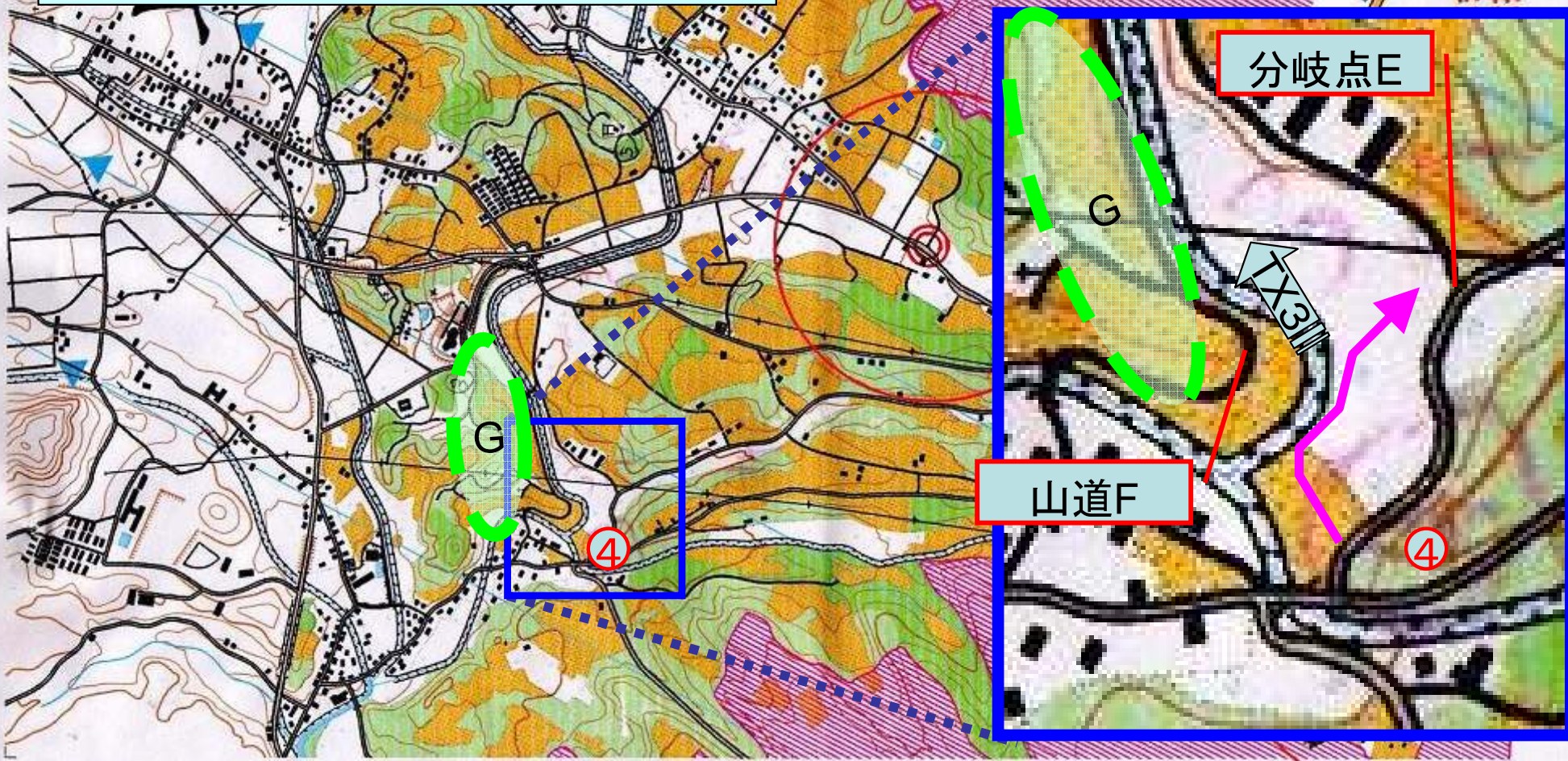
会(兼)技大会

縮尺 1:50,000
地図製
K. Shin

現地調査員 清水茂 樋口義孝 栗田哲 藤原和久

⑦川を渡れず

山道Fへ行こうとするが川を渡れない。そこでTX3が鳴く。弱い。さっきより弱くなった感じた。あわてて分岐点E方向へ進むと急に強くなった。F地点の山が障害物になっていたと判断。ということは、Gの山地帯の南側側壁にある可能性が大ということだ。



⑧川をにらむ

川を渡る橋の場所を確認しながら東へ進んだところでTX3が鳴く。道と直角方向であり、進んだことにより方位が90度変わるという判断ポイントだ。妙な建物がある方向だが、南壁の下半分にはない。下半分にあればもっと強く入感されるはず。壁を登らず道を上がっていくことにする。



2008-May-1

2008群馬144MHzARDF競技大会(兼)
2008高等学校144MHzARDF競技大会
北関東地区予選

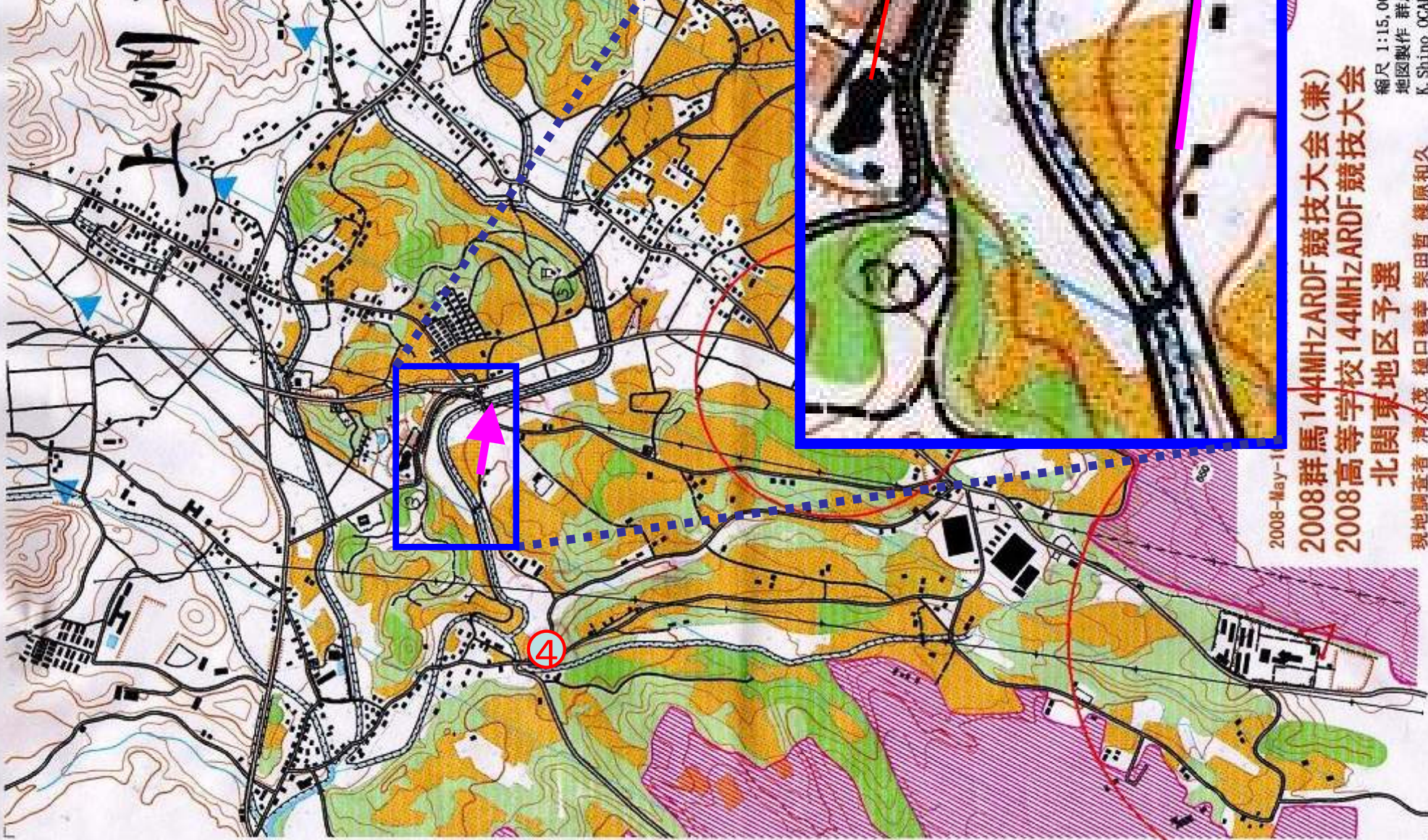


縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
地図製作 群馬ARDFFクラブ
K. Shino OCAD9.6.1 License No. 5883

現地調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 藤原和久

⑨橋

TX1,2,5が川方向(東南方向)だ。
TX1,2は、スタート直後と比較してかなり弱くなっている。遠くまで来たことを痛感する。



2008-May-1

2008群馬144MHzARDF競技大会(兼)
2008高等学校144MHzARDF競技大会
北関東地区予選

現地調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 篠原和久

縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
地図製作 群馬ARDFFクラブ

K. Shino OCAD9.6.1 License No. 5883

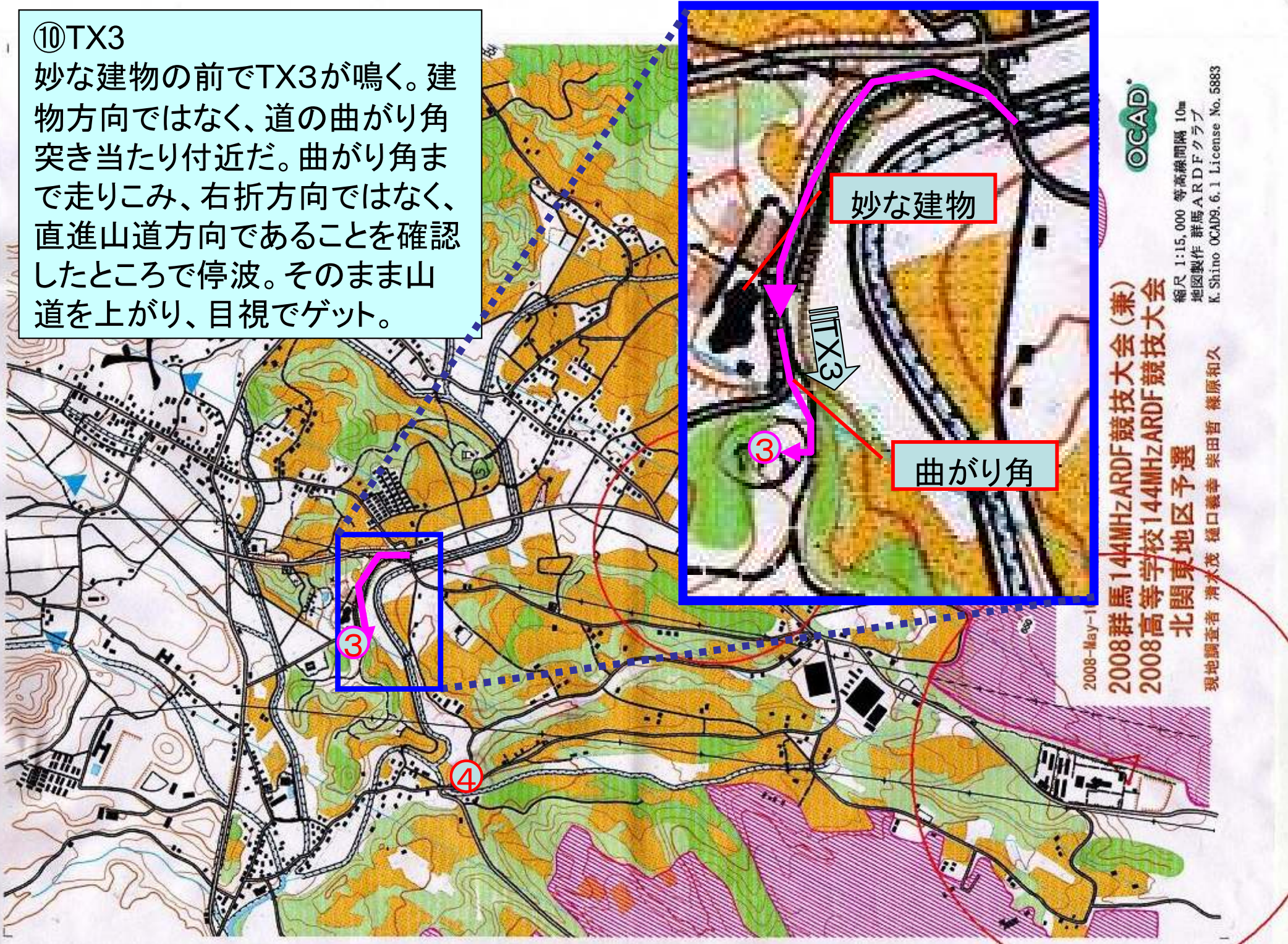


妙な建物

TX5
TX2
TX1

⑩TX3

妙な建物の前でTX3が鳴く。建物方向ではなく、道の曲がり角突き当たり付近だ。曲がり角まで走りこみ、右折方向ではなく、直進山道方向であることを確認したところで停波。そのまま山道を上がり、目視でゲット。



OCAD

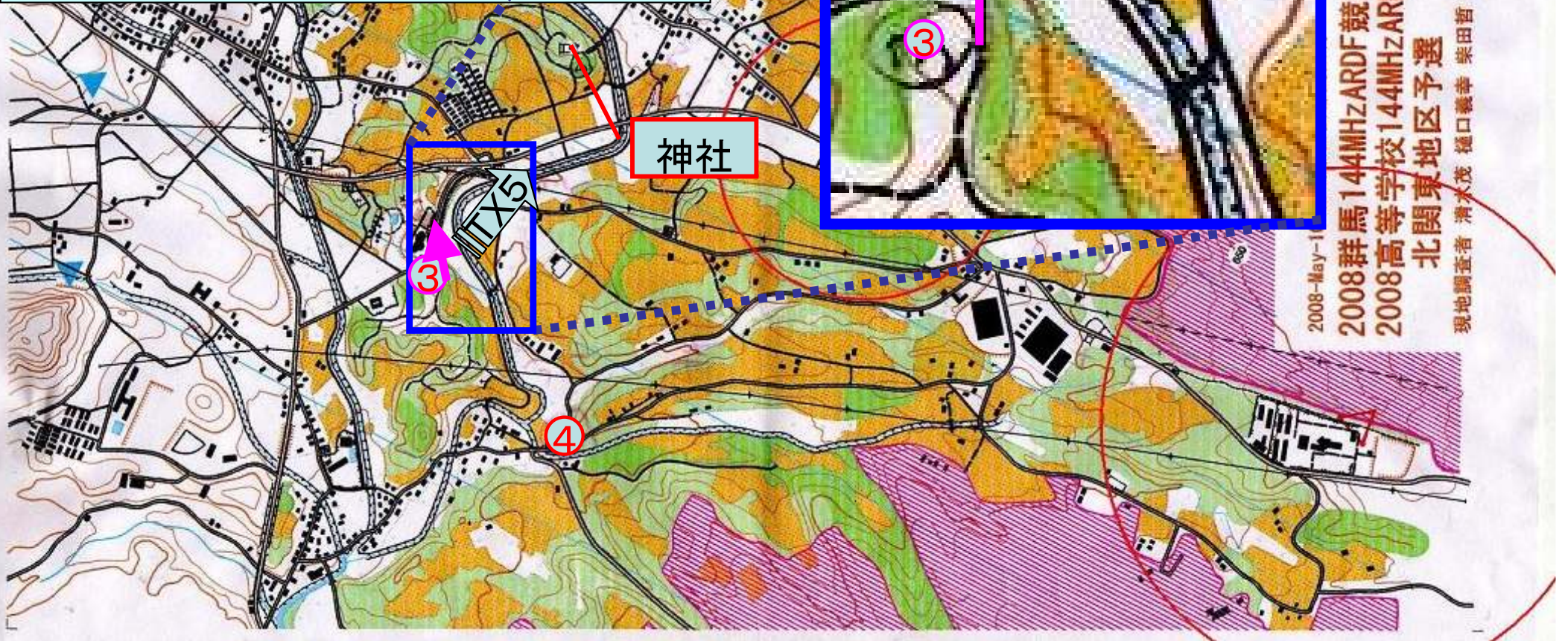
縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
地図製作 群馬ARDFクラブ
K. Shino OCAD9.6.1 License No. 5883

2008-May-1
2008群馬144MHzARDF競技大会(兼)
2008高等学校144MHzARDF競技大会
北関東地区予選

現地調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 篠原和久

⑪ 妙な建物の前

TX5が神社方向に強く入感される。下の橋付近での強度と段違いだ。ということは、TX5は見開きの平地にはないということだ。すなわち神社山頂か、その山の陰領域と予想される。TX1,2はあまり強くない。TX5はM40の対象外であるが、ここまで1時間かかっていないので、今回は久々に5つゲットを狙うことにする。



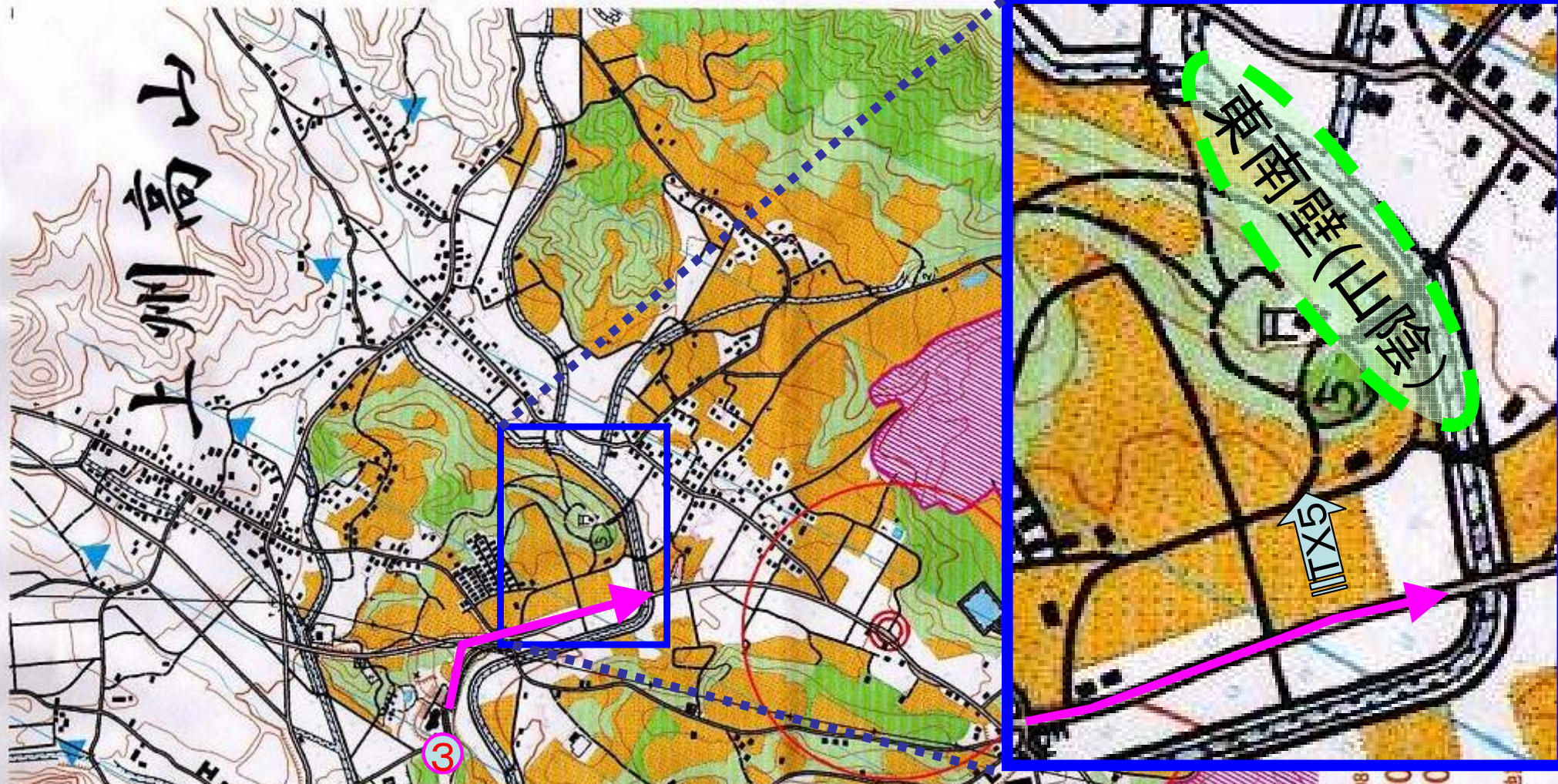
OCAD

縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
地図製作 群馬ARDDFクラブ
K. Shino OCAD9.6.1 License No. 5883

2008-May-1

2008群馬144MHzARDF競技大会(兼)
2008高等学校144MHzARDF競技大会
北関東地区予選

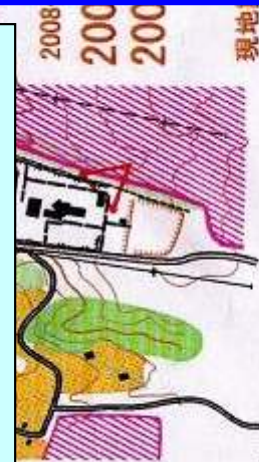
現地調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 篠原和久



⑫ 回り込み

TX5は神社付近(山の上)にある可能性もあるが、東南壁(山の陰)にある可能性もある。山際の道を進むと方探が困難なので、あえて道から離れている車道を進み、神社の山を回りこむことにした。

TX5が鳴く。神社方向だ。あわてて南方向へ走る。山の東南側が見えたときに信号が強くなるか否かを見極めたかったからだ。川までは行けなかったが、強くなったような気もするし、しないような気もするし。

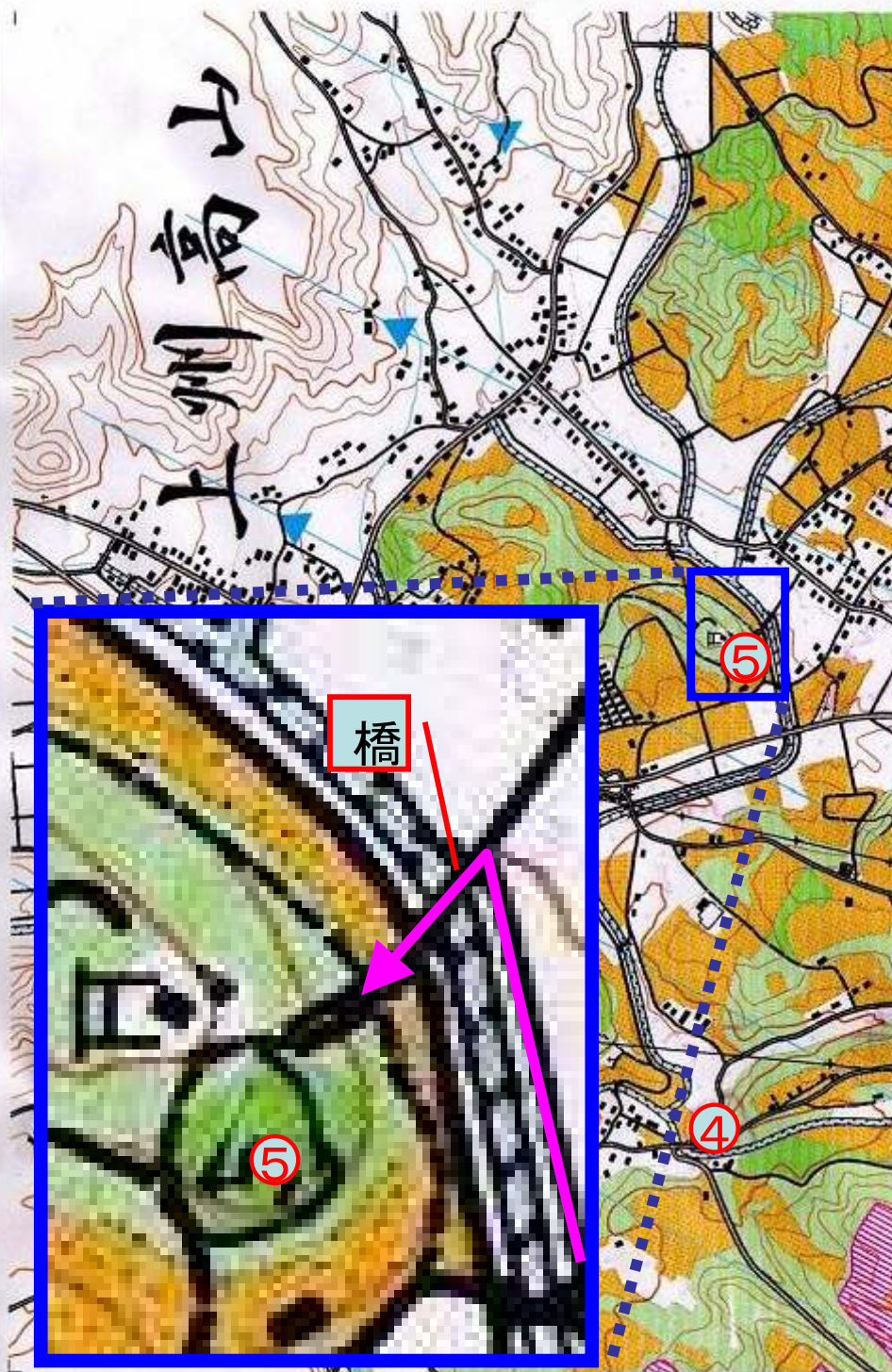


⑬TX5

川沿いの道を進み、神社東南壁に近づいたところでTX5が鳴く時間が迫る。橋のところで高校生K君が待機している。交差点での待機はセオリー通り。よしよし。川の近くというのが気になるが、川の特性を知っていれば問題ない。自分は階段を半分上がったところで待つことにする。可能性の高い神社へ上がることも、下って東南壁に沿って(川に沿って)進むことも可能だからだ。

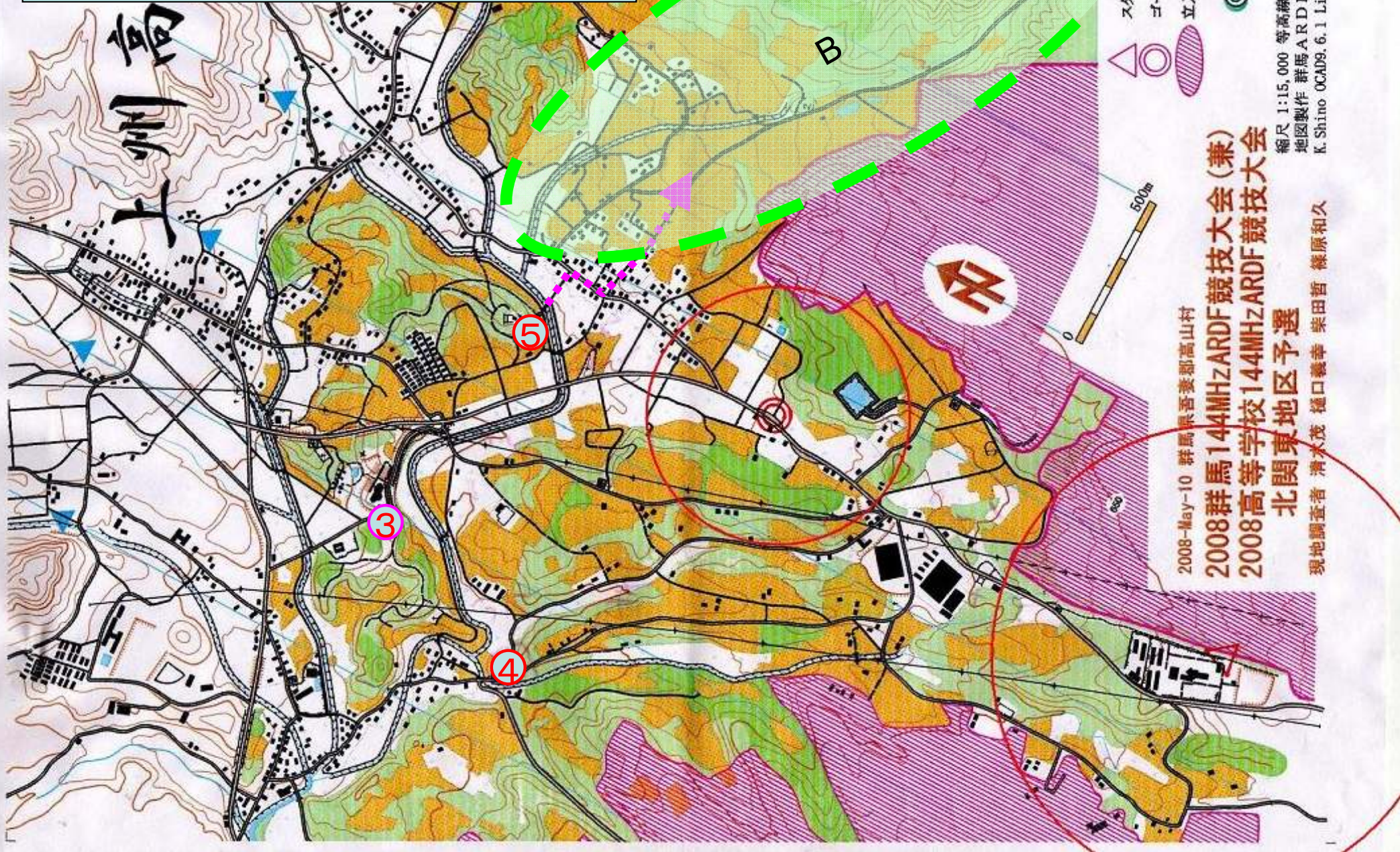
TX5が鳴く。まず東南壁に沿った方向に無いことを確認。やはり山頂方向が強い。階段を駆け上がり上の広場へ。右にある神社のお社方向とは反対側の藪だ。飛び込んで、難なくTX5ゲット。

せっかく高台に上ったのでTX1を方探。ゴール方向だ。いやな予感が走る。ゴールとの距離は800mくらいしかないからだ。



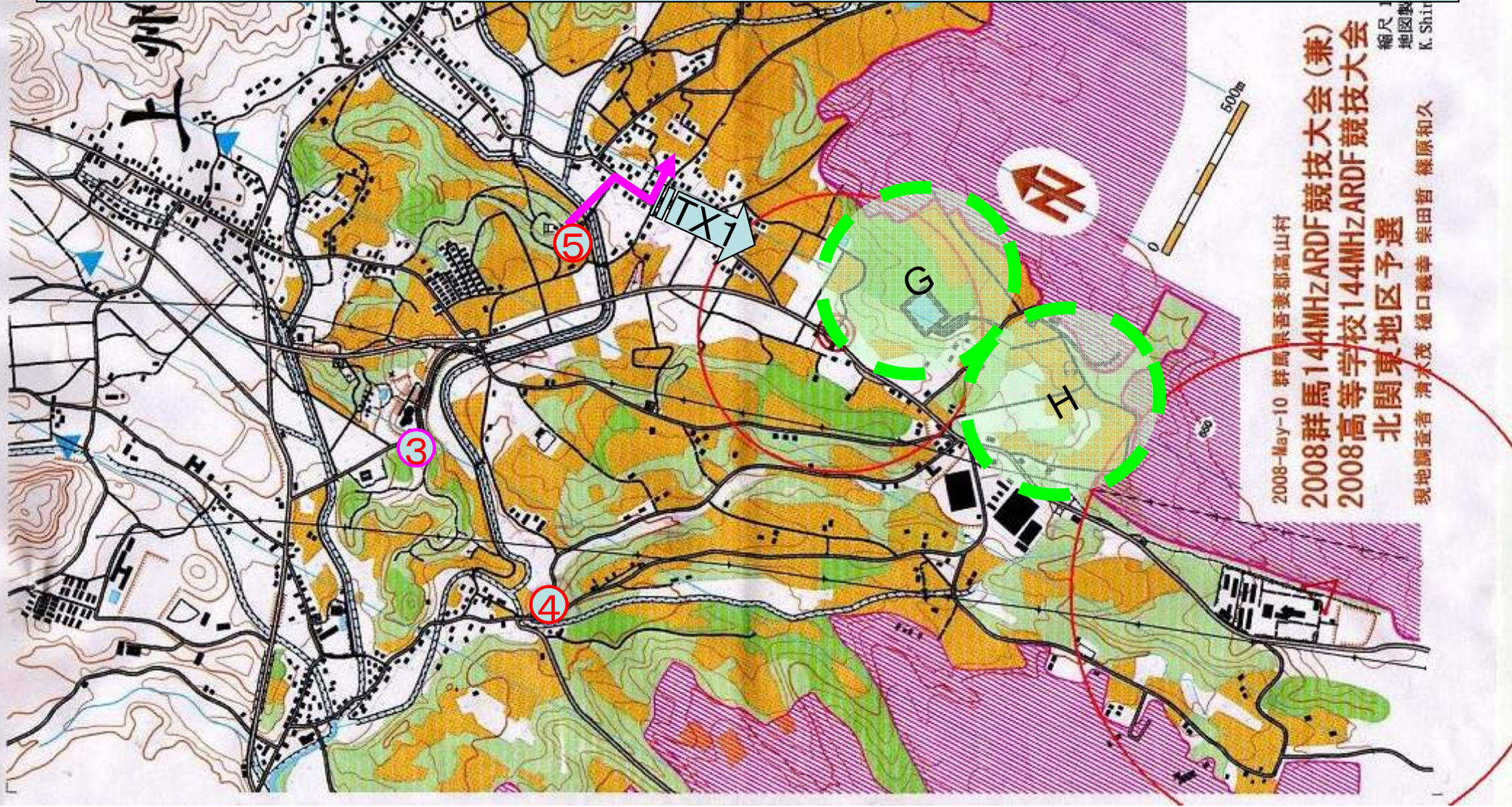
⑭次はTX2

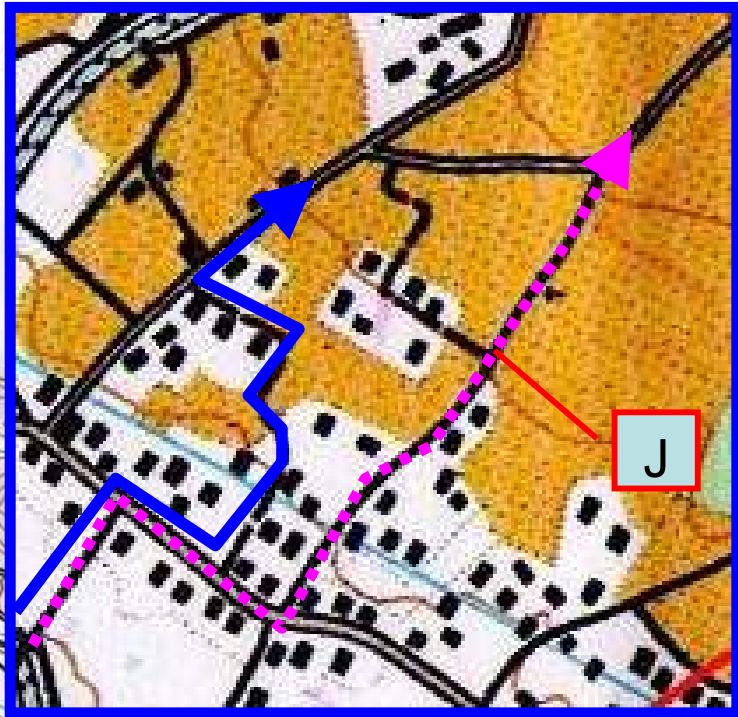
TX1はゴール方向だが、TX2は例のB
エリア。点線ルートを進むことを決定



⑮TX1が弱くなる

細い道をあがって行くと、TX1が弱くなってきた。おかしい。その方向の障害物といったらGの高台だ。なんてこったい。Gの高台の前(ゴールの手前)ではなく、ゴール向こうのスタート直後の位置(Hエリア)ではないか。がっくりしながら進んでいくと、ほぼ直線のはずの道が左右と曲折してきた。





⑬ミスコース

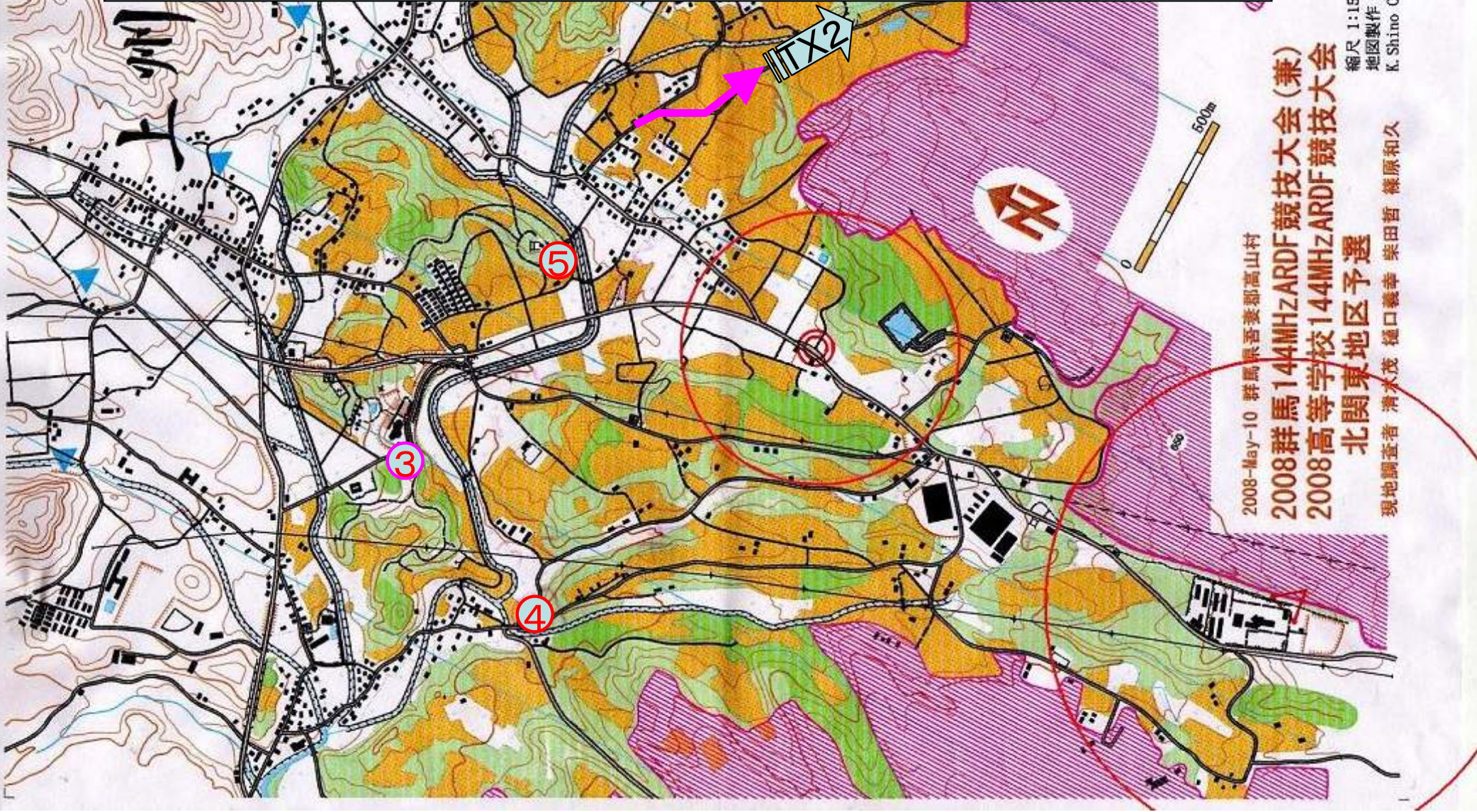
あれ、いつの間にか、J地点で左に折れてしまったのか。車道に出たところで車道の方位をみると東西に近い。おかしい。実際は青のルートを進んできてしまったことに気づく。

車道を進むと佐藤先生がすごい勢いで駆け下りてくるのとすれ違う。TX2をゲットしてきたに違いない。

⑰ 淡々とした上り坂

TX2は完全に道なり方向。

先ほどのK君とすれ違う。あの走りはTX2をゲットしてきた様子。彼はTX5を私の直後にゲットしていた。ということは、TX2はさほど遠くない、あるいは簡単設定である可能性が強い。



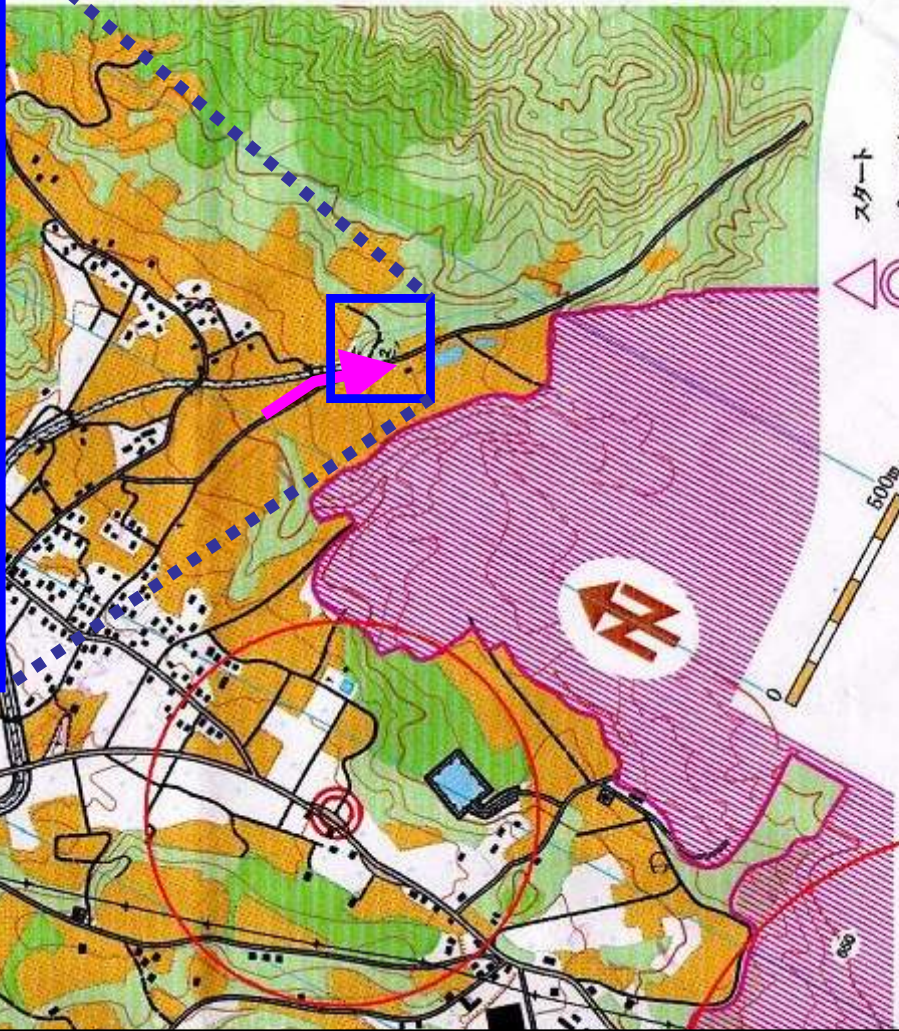
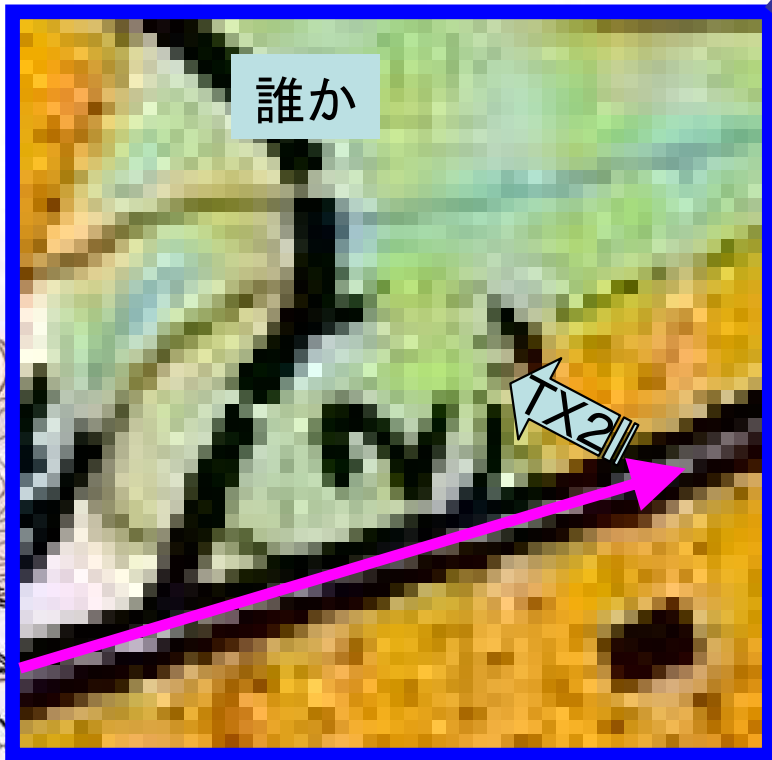
2008-May-10 群馬県吾妻郡高山村
2008群馬144MHzARDF競技大会(兼)
2008高等学校144MHzARDF競技大会
北関東地区予選
現地調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 篠原和久



縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
地図製作 群馬ARDFクラブ
K. Shino OCAD9.6.1 License No. 5883

誰か

TX2



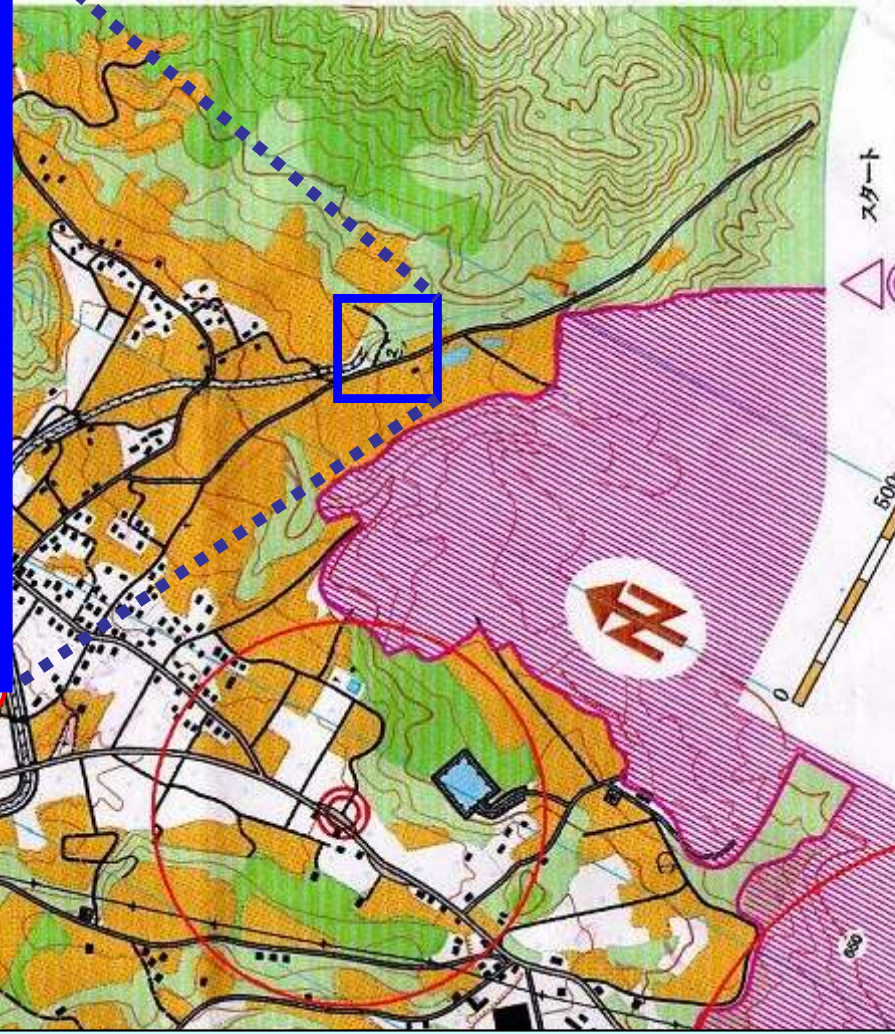
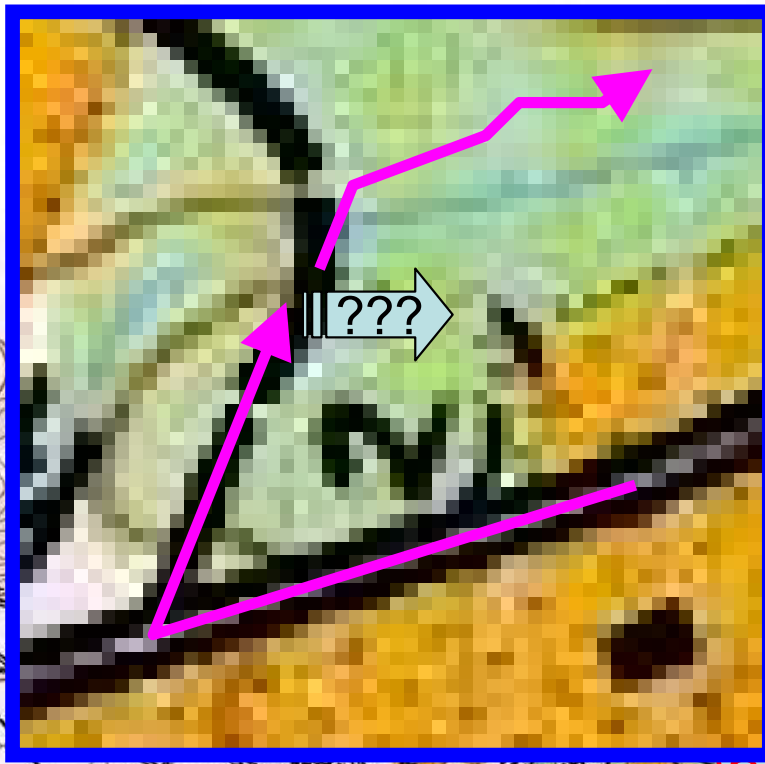
スタート
ゴールピーコン
立入禁止区域



縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
地図製作 群馬ARDFクラブ
K. Shino OCAD9.6.1 License No. 5883

2008-May-10 群馬県吾妻郡高山村
2008群馬144MHzARDF競技大会(兼)
2008高等学校144MHzARDF競技大会
北関東地区予選
現地調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 篠原和久

⑱TX2に翻弄1
分岐左の道方向で誰かが藪から出てくるのを見る。あそこにあるのかな？でも方位からすると分岐から入りすぎだ。分岐を左に入らずにそのまま進んだところでTX2が鳴く。強烈に斜め後ろだ。



スタート
ゴールピーコン
立入禁止区域

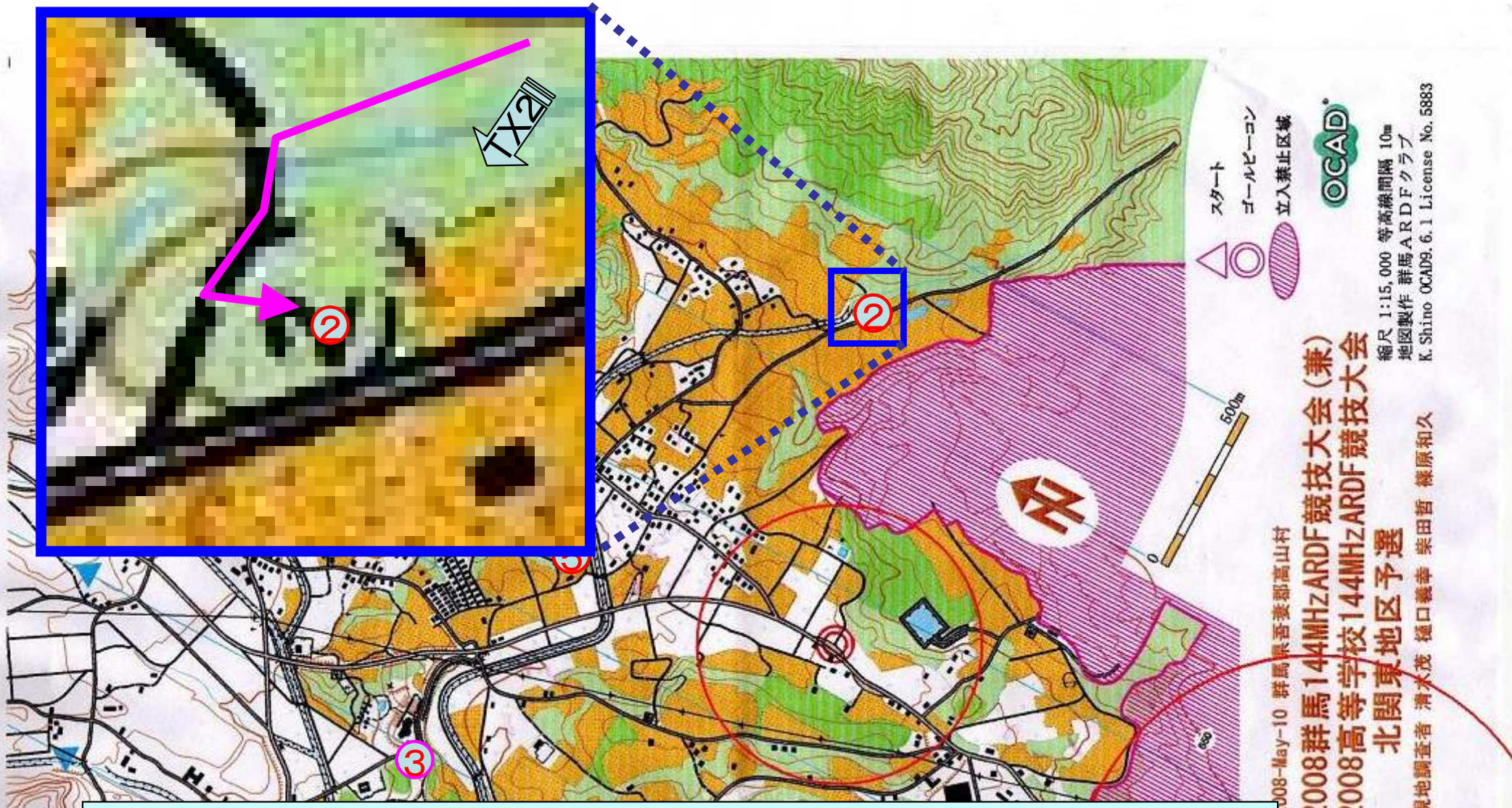


縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
地図製作 群馬ARDFクラブ
K. Shino OCAD9.6.1 License No. 5883

2008-May-10 群馬県吾妻郡高山村
2008群馬144MHzARDF競技大会(兼)
2008高等学校144MHzARDF競技大会
北関東地区予選

現地調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 篠原和久

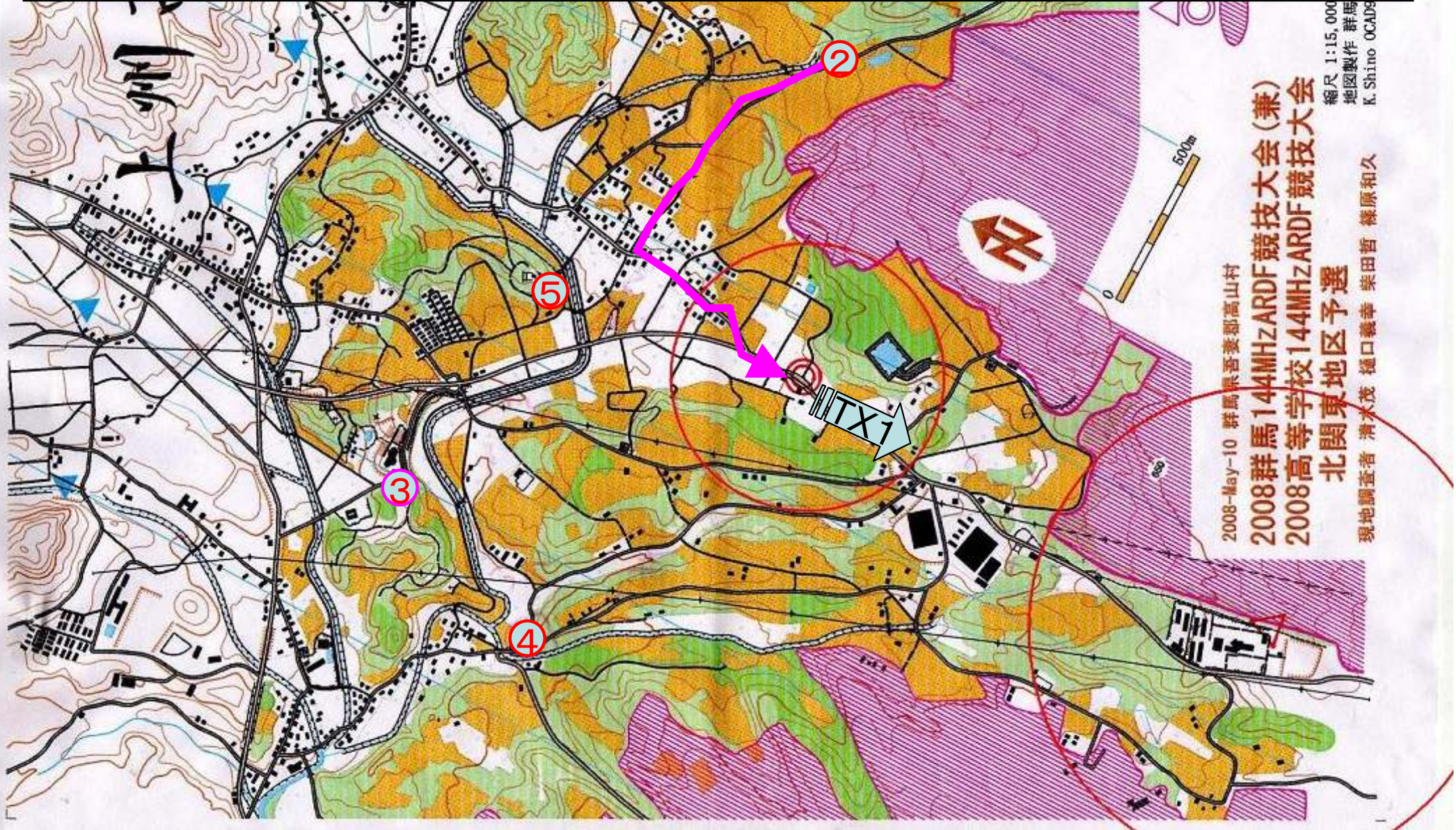
⑬TX2に翻弄2
TXを右方向に方探しながら先ほどの分岐まで戻り、分岐を東方向へ曲がる。前方からこちらに向かって菊一先生が走ってくる。右にあるはずのTX2が急に弱くなったところで停波。おかしいな。絶対に右にあるはずなんだが。川沿いに少し藪に入り高いところでTX2を待つ。



②TX2
 TX2が鳴く。分岐道に挟まれたところだ。道に出ると、菊一先生が藪から降りてきた。先にゲットされたか。そのやぶに上がりTX2をゲットする。後から考えれば、分岐を右に曲がったときの方探角度範囲が狭かったことと、なぜ弱くなったのかの考えが浅かったことがロスにつながったとみる

(21)ゴール前

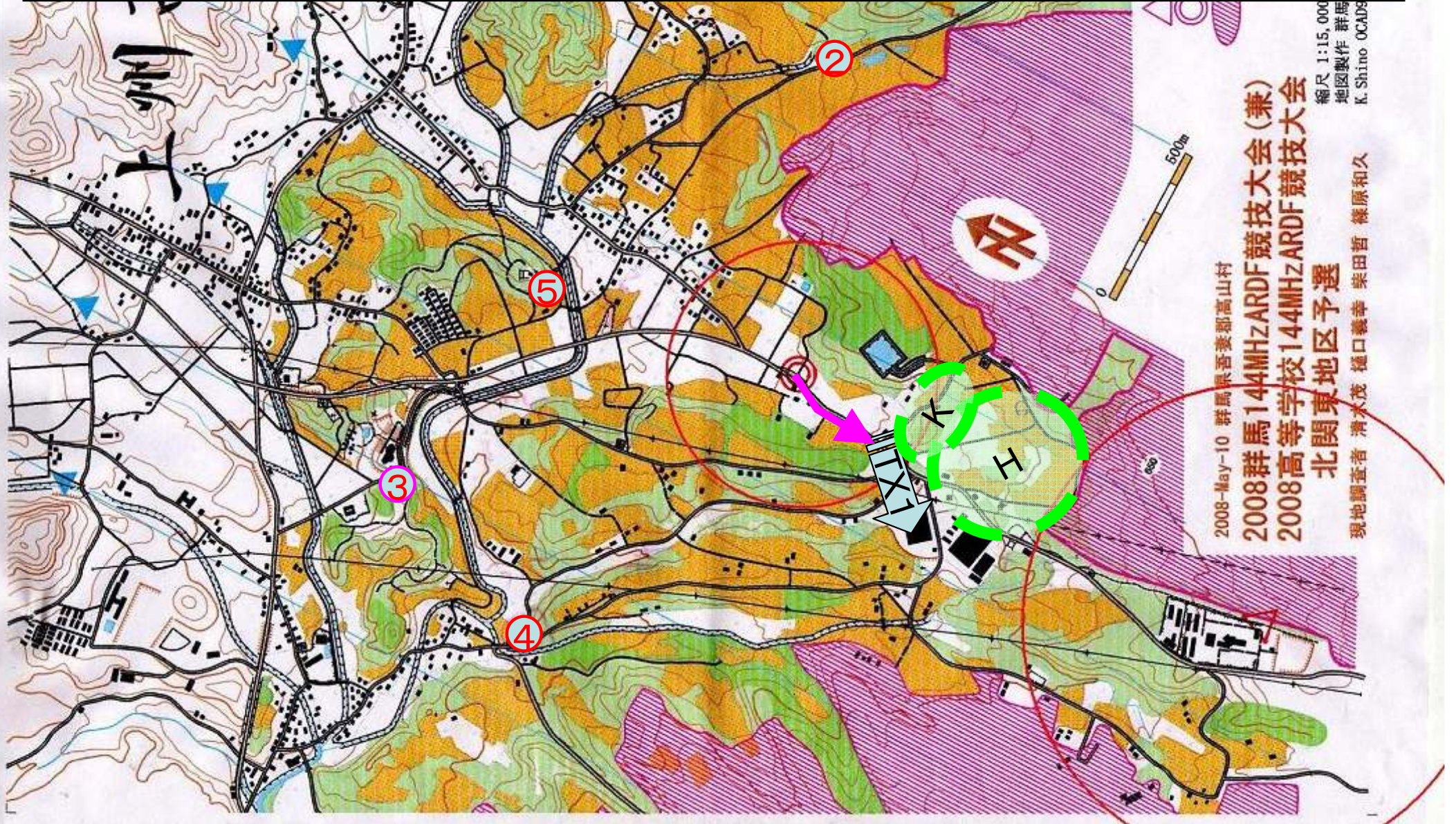
ゴール前を通過して、取りこぼしたTX1を取りに行くのは屈辱であり、アップダウンはあるし、ゴールから駐車場へ行く途中でもあり諦めたい気持ちもあったが、M40必須のTXであること、時間にもあと30分強あったので、TX1に向かった。
TX1が鳴くが、タイミング悪くゴールビーコン前。かぶってよくわからない。



(22)分岐点D手前

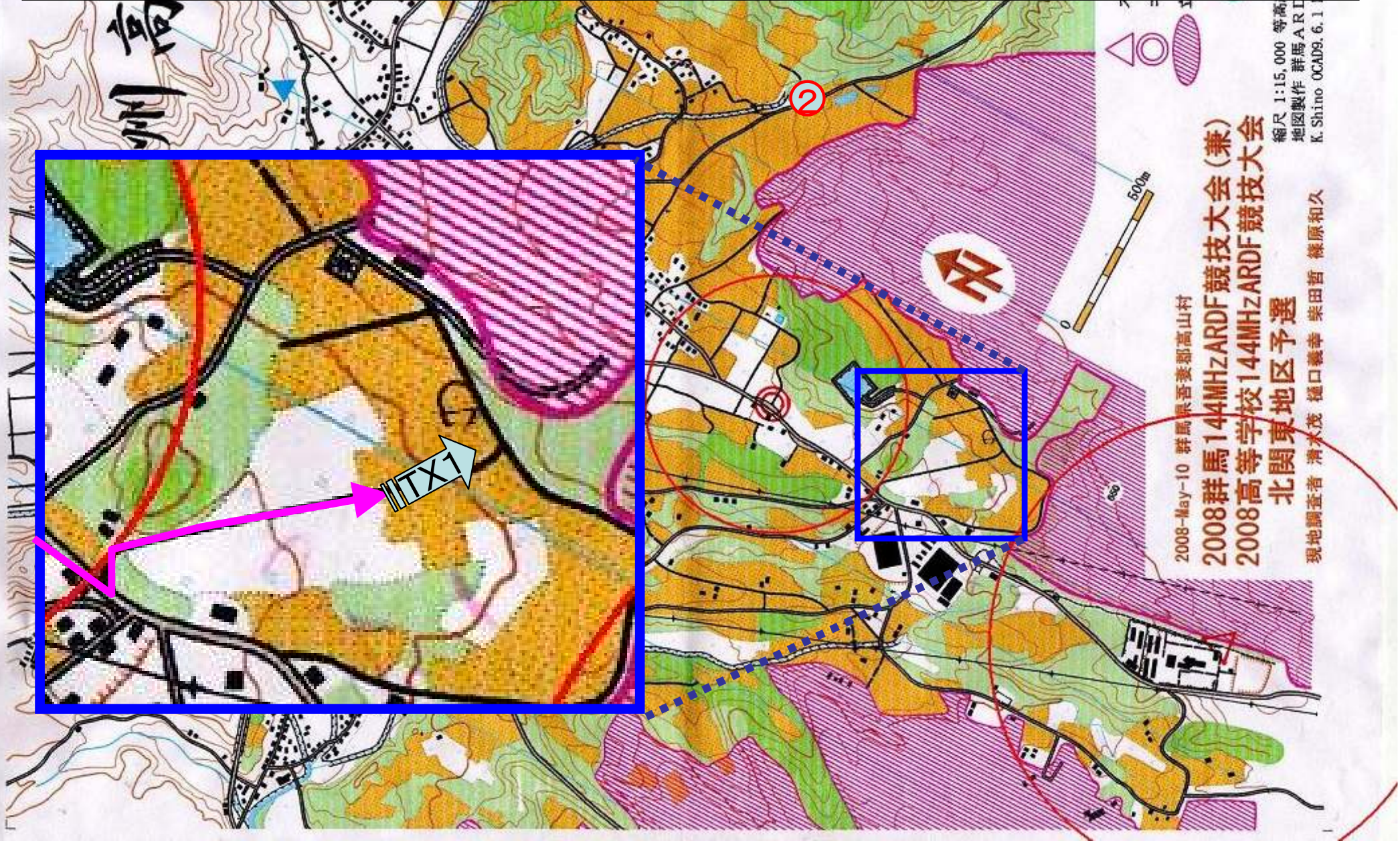
TX1が思ったほど強くない、南西方向。ええ、何で？ Hエリアにあると思ったのに。反射？ 確かに建物はあるが... などとあたふたしているうちに停波。次のアクションがわからない状態での停波は痛い。

(後で思えば、Kの山の陰になっていたために、直接波が受信できなかったのだ)



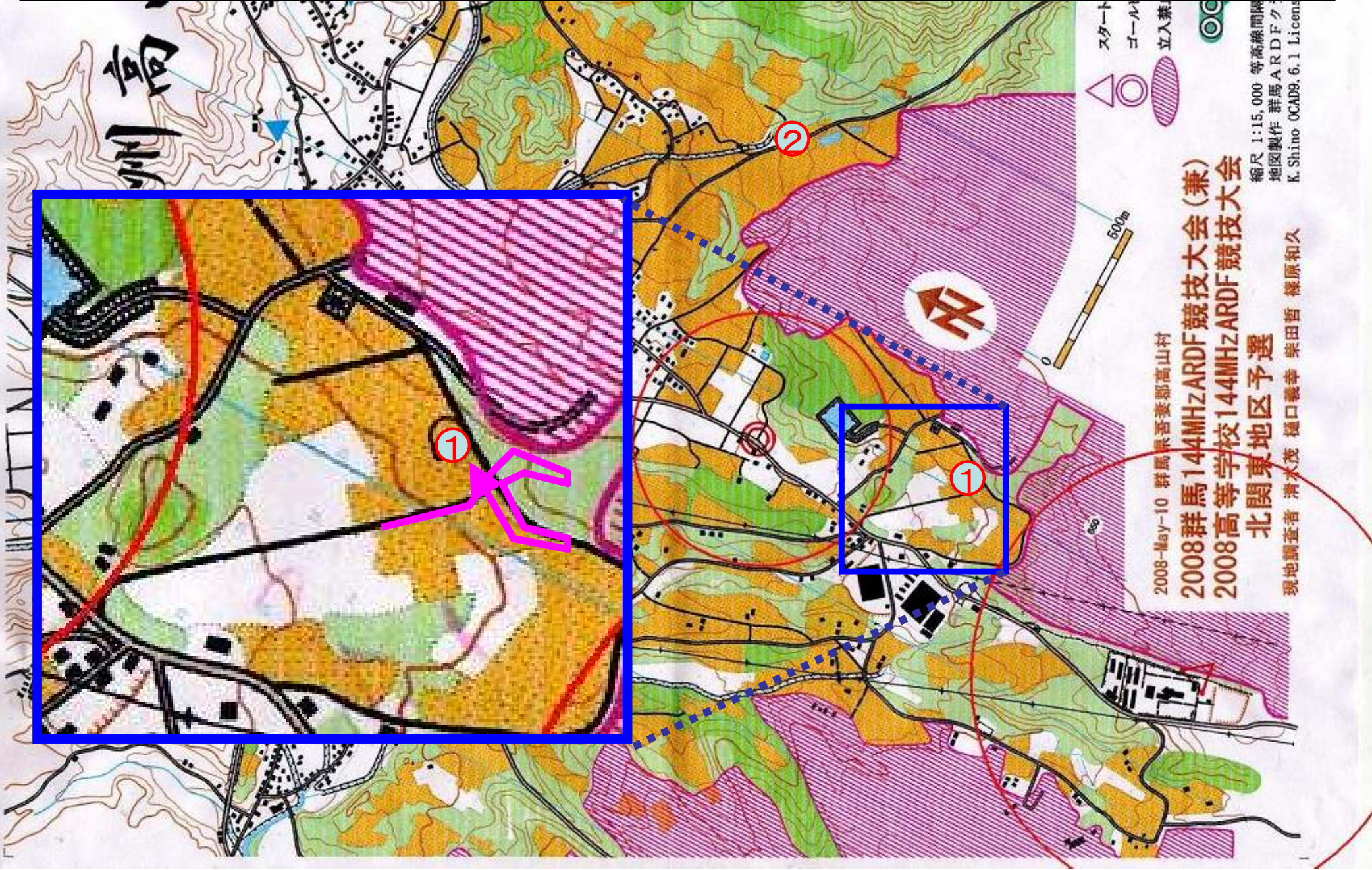
(23)平地中央

車道へすぐに向かえる道を探しながら、Hエリアの中央部に進んだところでTX1が鳴く。道なり方向でわずかに左だ。やはり先ほどののは反射だったのだ。前方の藪は後ろがゴルフ場なので深くない



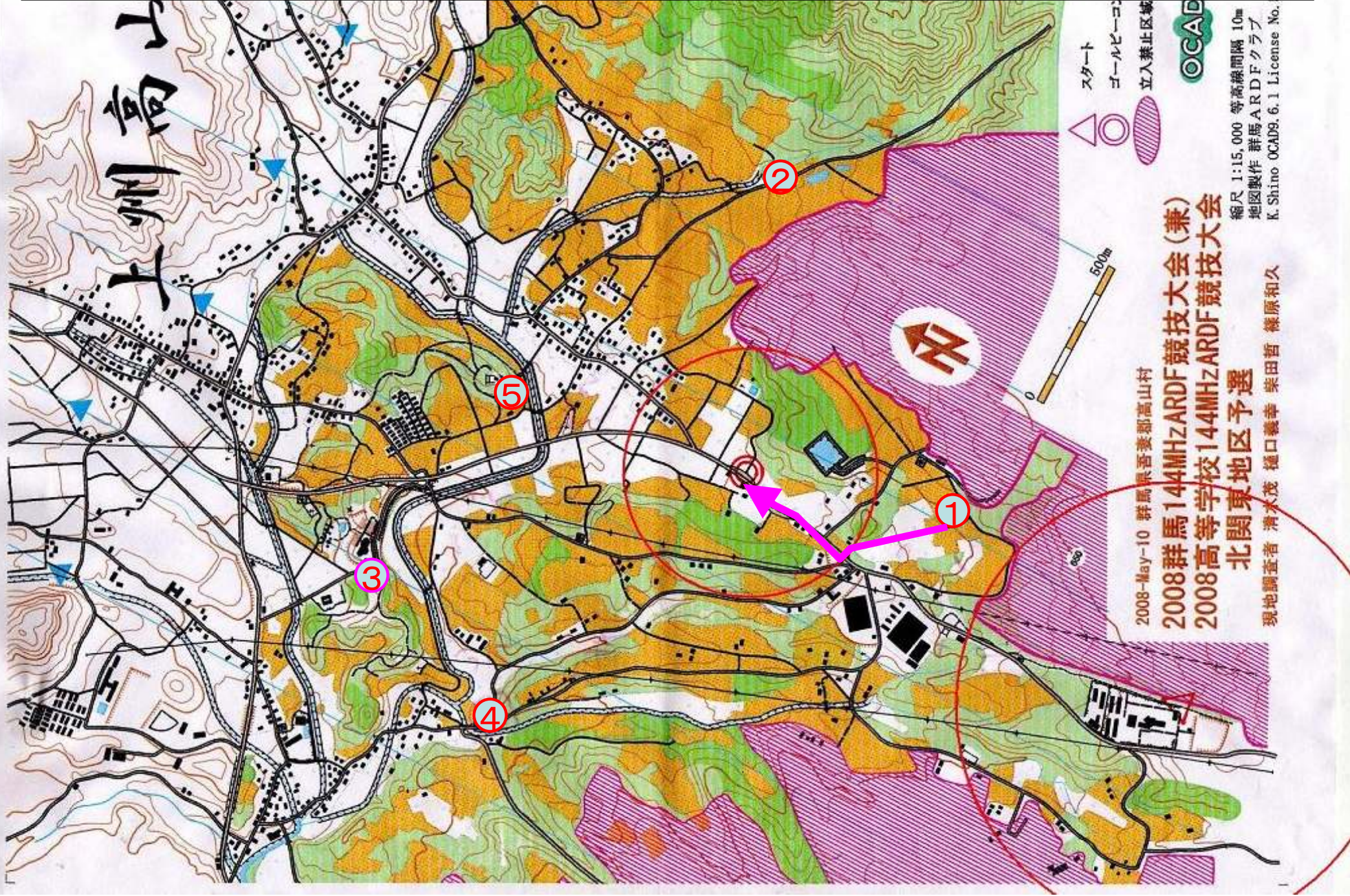
(24)TX1

突き当りまで進み、藪に少し入ってみるが、TX1は見つからない。道に戻りTX1が鳴く。難なくゲット

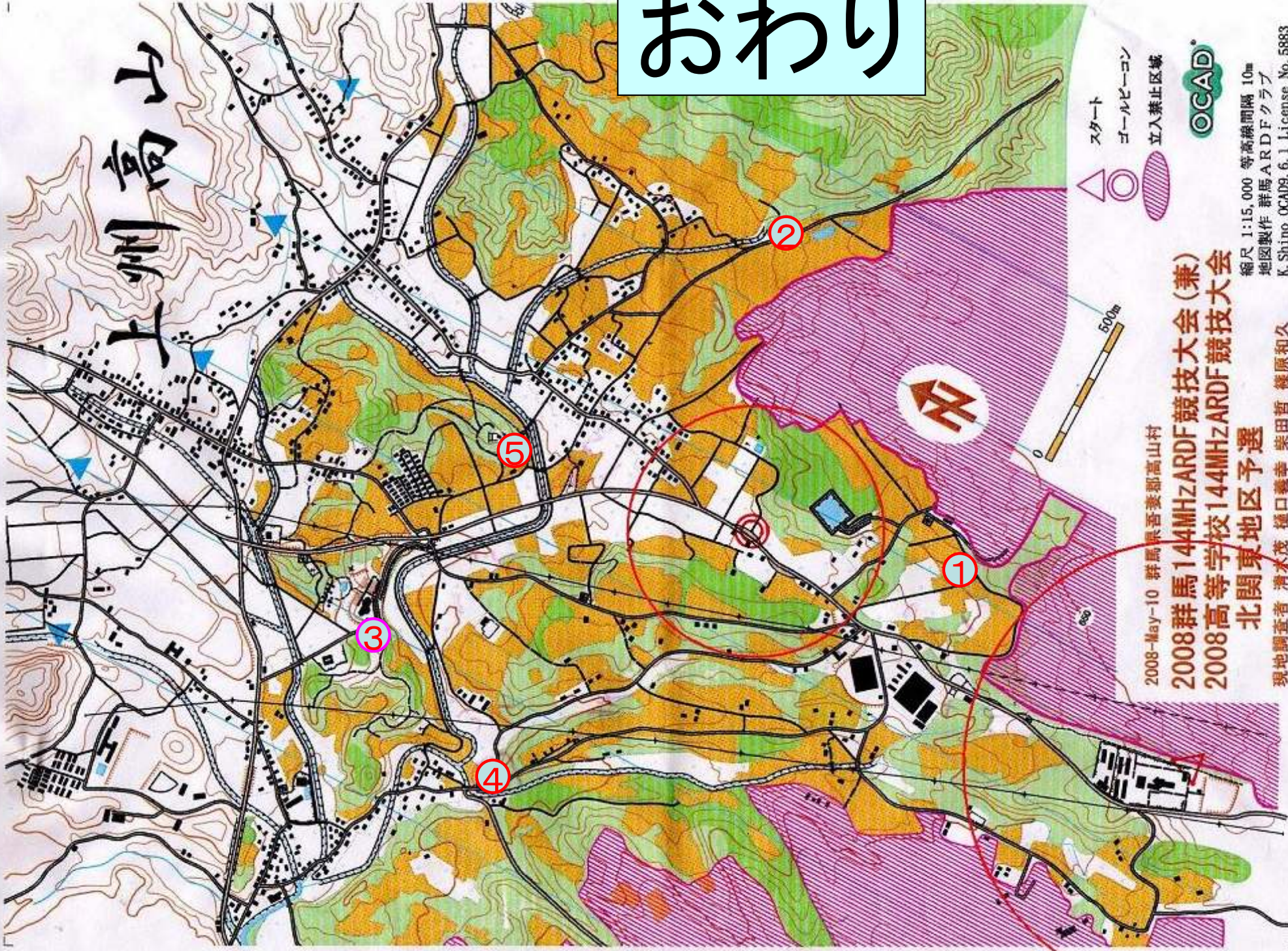


(25)ゴール

タイムオーバーはしない時間だったので、とぼとぼとゴールへ戻る。



おわり



上州高山

2008-May-10 群馬県吾妻郡高山村
2008群馬144MHzARDF競技大会(兼)
2008高等学校144MHzARDF競技大会
北関東地区予選

現地調査者 清水茂 樋口義幸 柴田哲 藤原和久

縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
地図製作 群馬ARDFクラブ
K. Shino OCAD9.6.1 License No. 5883

- スタート
- ゴールピーコン
- 立入禁止区域



反省

- 信号強度と距離との関係
 - 今回の最大のミスは最初にTX1を取らなかったこと。信号が強かったにも拘らず、遠いと判断してしまった。大会の前半はいつも距離感がつかめず、学習効果がない。ミッキーマウス計画ではないが、何らかの定量的な把握手段を考えなければならないかもしれない。
- ミスコース
 - しっかりと自分の位置を把握していなかったことと、自分の進む道以外の道を地図上でしっかりと把握していなかったことによるミスコースをしてしまった。
- 方探角度範囲
 - TX2での翻弄は、自分が勝手に推測した方向のみの方探で、信号が弱かったことにあたふたしてしまった。特に最後の詰めでは走りこんでの方探なので、精神的にも焦りがあった。こういうときにこそ大きくアンテナを振る癖をつけたい。
- ベストポジションでの待機
 - 今回は概して、ちょうどよいところで目標のTXが鳴いてくれたので容易に各TXをゲットできた。如何によいポジションで目的のTXを鳴かせるかのスピードコントロールが重要であることを改めて実感した。